

HEART NEWS

2020年7月1日発行

Vol. 43

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



コロナ禍のため、2ヶ月遅れの今年度最初のハートニュースの発行です。集合写真もZoomでの撮影となりました。

循環器内科、心臓血管外科とも新しいレジデント、専攻医も加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりました。ハートラインを受け入れながら、COVID-19を疑う症例を見逃さない市総合を目指して、これまで同様、地域医療機関との連携強化に努めたいと思っております。今年度もご支援よろしくお願ひします。



大阪市立総合医療センター 循環器センター長
循環器内科部長 成子 隆彦

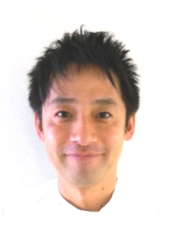
循環器内科のご紹介

循環器内科は、今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

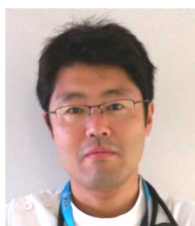
1. 弁膜症に対するカテーテル治療：大動脈弁狭窄に対し、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を2016年4月から開始し、2020年3月で200例に到達しました。本年度は、コロナの影響で、遅れている僧帽弁閉鎖不全症に対しての経皮的僧帽弁クリップ術 (Mitral Clip) の開始を予定しています。
2. 閉塞性肥大型心筋症のカテーテル治療：閉塞性肥大型心筋症は、肥大心筋を栄養している中隔枝にバルーンカテーテルを通して選択的に高濃度エタノールを注入、心筋に凝固壊死を起こすことで左室流出路狭窄を解除し、圧較差が改善する経皮的な中隔心筋焼灼術 (PTSMA) を2018年から10例を施行し、良好な成績を収めています。
3. 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後、疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし糖尿病内科、腎臓高血圧内科、総合診療科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して治療に努めてまいります。
4. 不整脈治療：デバイス治療に関しましては年間150件を超え、最多の件数となりました。心室ペースングを必要とする患者様の10-20%で心機能が低下する(ペースング誘発性心筋症)ことが知られています。このペースング誘発性心筋症の発生率軽減を目指して、当院では、より生理的なHis束ペースングや左脚ペースングを積極的に行っております。また本年9月から左心耳閉鎖システム (WATCHMAN) を用いたカテーテル治療を開始予定です。
5. 心不全パスの充実：超高齢化に伴い、近年増加している心不全患者の再入院を、減らすことを目的として、定期的で開催しています「大阪心不全地域医療連携の会」を通じて、心不全患者の管理を、医療機関から地域全体で切れ目のない治療体制を本年度も発展させていきたいと思ひます。



副部長
阿部 幸雄



副部長
松村 嘉起



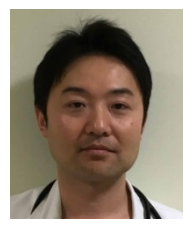
副部長
松本 亮



医長
占野 賢司



医長
仲川 将志



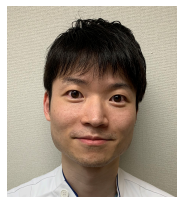
医長
齋藤 聡男



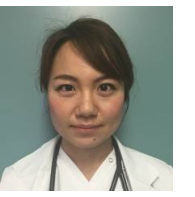
医長
林 雄介



レジデント
田村 尚大



レジデント
藤澤 直輝



レジデント
野村 菜々香



専攻医
加島 裕美



専攻医
豊田 なつみ



専攻医
麻田 裕之



専攻医
吉井 大智

循環器内科外来担当医のご案内

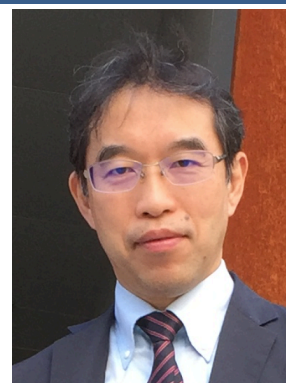
	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川	成子
	占野 (ペースメーカー)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林 (不整脈)
午後		齋藤 (末梢動脈)	占野 (不整脈)		松本 (TAVI)

心臓血管外科のご紹介

2019年4月1日より心臓血管外科部長を拝命した村上貴志です。1年が経ち、いくつかの新しい治療も無事導入することが出来ました。



部長 村上貴志

1) 低侵襲心臓手術 (Minimally Invasive Cardiac Surgery: **ミックス**) が導入されました。小切開から内視鏡下に弁膜症手術を行なっています。

2) **ロボット**支援下手術を開始しました。

3) 手術が不可能と判断された大動脈瘤の患者様にも、ステントグラフトを応用した治療導入して、治療の機会を提供してきました。

4) 身近な疾患としては、**下肢静脈瘤**の治療を行います。また足の皮膚潰瘍 (下肢虚血・**静脈鬱滞性皮膚潰瘍**など) に対する治療や、リンパ浮腫や動静脈奇形による下肢の腫脹に対する治療を行います。

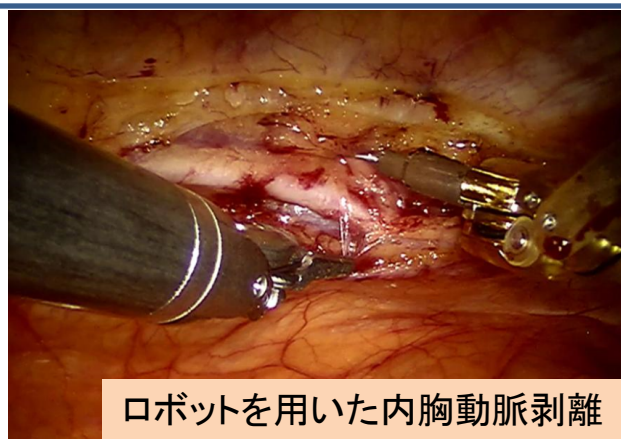
5) **内蔵動脈瘤**に対するコイル塞栓術など、**血管内治療**に注力しています。

従来通り循環器センター直通電話 (ハートライン) を通じて、24時間対応しております。また、【大動脈センター】は、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂に対する緊急手術を一年間に45例に行いました。

大動脈弁狭窄症に対しては、経カテーテル的大動脈弁植え込み術 (**TAVI**) やミックスなど、適切な治療をご提供します。

新メンバーも迎え、気持ちも新たに今年度をスタートしております。

手術支援ロボット



ロボットを用いた内胸動脈剥離



副部長
青山 孝信



副部長
阪口 正則



医長
尾藤 康行



レジデント
桐谷 ゆり子



レジデント
住井 陽介



レジデント
新田目 淳孝



専攻医
角谷 明洋



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	【下肢静脈瘤外来】 青山	尾藤
午後	青山	【ロボット手術外来】 村上	阪口		尾藤

診察予約は

地域医療連携室へ

平日 8:45~20:00

TEL:06-6929-3643

FAX:06-6929-0886

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

しかしこの3月以後は、コロナ禍によって学会や研究会が軒並み延期または中止となりました。教え教えられ、議論することによって医療を高めあうといった機会が突然なくなってしまいました。毎年恒例の、The Echo Live（心エコー図検査の教育プログラム、岡山大学・伊藤浩先生が代表世話人、私・阿部が企画運営を担当）も御多分に漏れず、5/30-31に大阪ビジネスパーク円形ホールで予定していた通常開催を中止せざるを得ませんでした。しかしこのコロナ禍の中で、臨床心エコー図学の発展という目標を見失わずに活動を続けることが大切ではないかと考えました。そこで“The Echo Live 2020 : Special LIVE program on WEB”と題して、5/30の夜に2時間半のスペシャル・プログラムをインターネットで生配信いたしました。Zoomを利用して、大阪、岡山、徳島、東京の4元中継のプログラムをYoutube Liveで配信しました（写真は撮影風景）。当科松村医師にも弁膜症症例の闘論セッションで活躍してもらいました。手前味噌で恐縮ですが大変好評を博し、リアルタイムで約1,300名の方に視聴いただき、再配信時も含めると総視聴数は約5,000回にのぼりました。ご視聴いただいた方には心から感謝申し上げます。どのような状況においても、情熱と工夫があれば勉強する機会を機会を作ることができるのだということを実感いたしました。もちろんコロナ禍の終息を心から願っておりますが、なかなか完全な状況に回復しなかったとしても、近隣の先生方、そして日本中あるいは世界中の先生方との交流をしっかりと続けるべきだと考えております。どうぞ今後とも宜しく願い申し上げます。 2020年6月25日 循環器内科副部長・阿部幸雄



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。